

新拠点が来月着工

RC造2階 1475²m

日置市にある日吉小学校跡地で、地域の課題解決や自治体との実証実験など地方創生を目指す新しい取り組みが始まる。Webサービスで地域活性化を推進するLR（末永祐馬社長、日置市）は、同校（仮称・旧日吉小学校ワークスペース）の改修を計画。10月にも着工し、2023年4月完成を目指す。業者は選定中で、デザインは37design（日置市）が担当。

地元企業・LR

場所は、日吉町日置50。敷地面積2階建1475²m。ワークスペースを中心としてカフェや物販などを設ける計画で、校庭やプールの活用についても関係機関と意見交換を検討している。

同社経営企画室の山下卓寛氏は「取り組みに興味を持つ企業や個人の方々と一緒にさまざまな取り組みを発信していただくことで、自社事業との相乗効果を図る方針だ。」

完成イメージ



人の方々と一緒にどのような機能していくかこれから話し合っていければ。また、歓談スペースや習い事教室などへの活用も視野に進めていきたい。働く場所という単一的な機能ではなく、地方創生推進型の施設を目指していく。

同社は、Webサービスで地域活性化を推進する中、全国でも課題のひとつとされる廃校の有効活用に着目。地域と一緒にさまざまな取り組みを発信していくことで、自社事業との相乗効果を図る方針だ。